

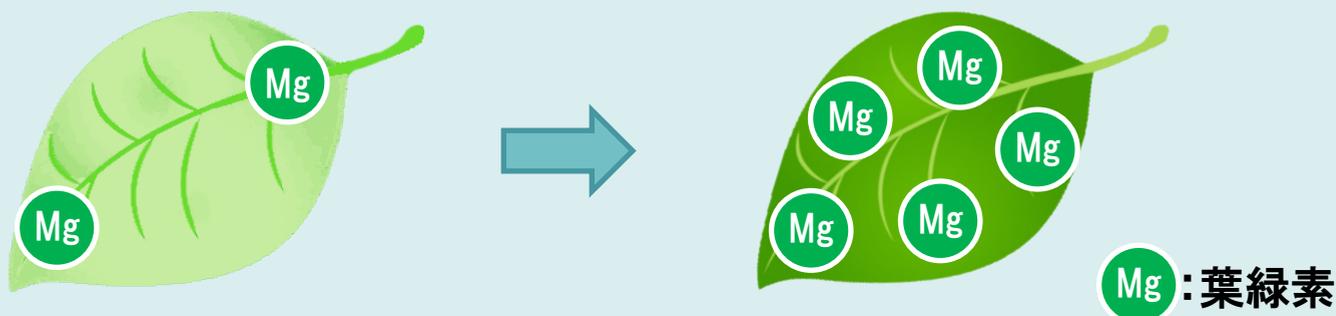
# 『季節の宅配便』

かんよう  
肝要につき、軽視するべからず

第2回としてマグネシウム(Mg)とカルシウム(Ca)について紹介します。これらは「**中量要素**」と呼ばれ、第1回(Vol. 86)で紹介した三要素(窒素・リン酸・カリウム)に比べると必要量は少ないですが植物に不可欠な要素です。

## マグネシウム(Mg)の主な働き

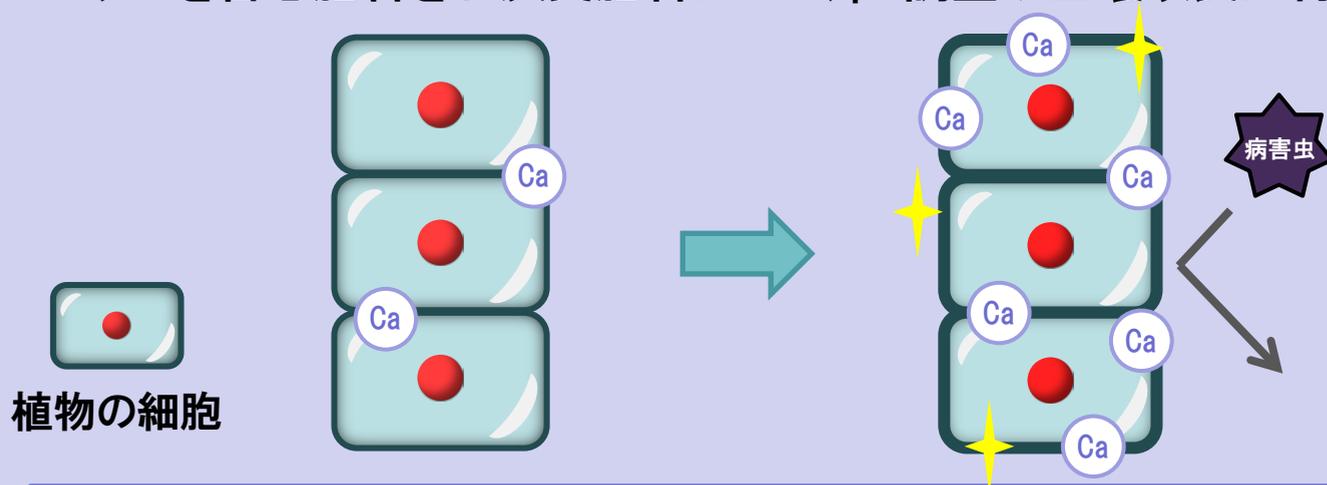
マグネシウムは苦土(クド)とも呼ばれ、苦土石灰としてよく使われています。



窒素(N)と結合し、植物の**葉緑素を構成**します。  
⇒不足すると葉脈を残して葉の色が抜け、植物の生育が悪くなります。

## カルシウム(Ca)の主な働き

カルシウムを含む肥料を石灰質肥料といい、pH調整や土壌改良に利用します。



植物の細胞を強くし、病害虫に対する**抵抗力**をつけます。  
⇒不足すると新芽の生育が阻害されたり、根腐れなどの症状がでます。